

古河市第8地区コミュニティ誌

第3号

(令和4年3月10日発行)

発行：第8地区コミュニティ

編集：第8地区コミュニティ広報委員会

【第8地区コミュニティ構成行政区】

上大野 小 堤 リバティヒル135

稲 宮 関 戸 新 町

第8地区コミュニティ会員世帯数

1,817世帯

岡郷だより

第8地区は旧岡郷村の地域に相当することから「岡郷だより」と名付けました。

第8地区コミュニティは、第8地区の住民相互の交流を促進するとともに、地域に存在するさまざまな課題等を自主的、主体的に解決を図り、ふれあいのある住みよい地域づくりに寄与することを目的に設立されました。「岡郷だより」は、この目的を達成するための広報誌です。

第8地区コミュニティ新旧会長ごあいさつ

令和3年度会長 箭内 忠喜

第8地区コミュニティの皆様、退任に当たりご挨拶申し上げます。去年の11月、12月、今年の三が日と、コロナもこのまま終息に向かうのかと思われましたが、松の取れないうちから、感染者が急増し今では（1月末現在）毎日過去最多を記録しております。第8地区の皆様におかれましても、より一層のコロナ対策を改めてお願いいたします。



私見ではありますが、去年、一昨年データをみると、コロナワクチンの効果（感染拡大の抑制、重症化リスクの軽減等）はかなりあると思います。3回目、必要ならば4回目のワクチンを打って、この「岡郷だより」が皆様のお手元に届く頃には、コロナ感染拡大のピークが過ぎて、令和4年度のコミュニティ活動が皆様方と共に出来ますことをお祈り申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。

令和4年度会長 中村 和彦

令和4年度会長就任に当たり、ご挨拶申し上げます。

現在の新型コロナ感染症の状況見て非常に不安に思っています。

令和3年度は色々な活動もほとんどが中止となり令和2年度に続き大変残念な結果となってしまいました。このようなことは今まで経験したことがなく初めてのことでした。

令和4年度はどのような時期に活動が再開できるのか等不安な思いで一杯です。また、今までの事業活動で良いのか考えているところです。

早い時期に活動が再開出来るよう祈念するとともに、開催の際にはコミュニティ役員・第8地区役員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

事業開催の際は、第8地区にお住まいの皆様の積極的参加をお願い申し上げますご挨拶とさせていただきます。



第8地区コミュニティ新旧役員

令和3年度 役員

役職名	氏名	行政区名
会長	箭内 忠喜	上大野
副会長	松本 隆	リバティヒル135
副会長	中村 和彦	新 町
会計	印出 勝男	小 堤
監事(会計監査)	藤原 孝道	関 戸
監事(会計監査)	荒木 喜重	稲 宮

令和4年度 役員

役職名	氏名	行政区名
会長	中村 和彦	新 町
副会長	関口 哲男	関 戸
副会長	諏訪 忠	小 堤
会計	諏訪 英雄	稲 宮
理事	松本 隆	リバティヒル135
監事(会計監査)	山中 章	小 堤
監事(会計監査)	田 續 和美	上大野

「岡郷だより」は、ふれあいのある住みよい地域づくりに寄与するため、年1回3月に発行し地域情報をお伝えしています。第8地区コミュニティでは、次回号から発行に対する賛助者を募集し、ご賛同いただいた賛助者名を「岡郷だより」に掲載させていただき読者に紹介する企画をしています。賛助をご希望される方（会社、個人を問いません。）は、令和4年度役員までご連絡をお願いします。（発行賛助金額は、3,000円～5,000円を予定しています。）

各 行 政 区 の 活 動 状 況

上大野行政区

令和3年度の殆どの事業は、コロナ感染症の影響により他の行政区と同様に中止が相次ぎました。そのような状況の中においても、長年受け継いできた伝統ある三社神社のお祭り、

- ・秋の祭礼（収穫祭）
令和3年11月19日（金）
 - ・初詣（御開帳）
令和4年1月1日（土）
- が氏子の皆さん、町会長の皆さんのご協力により無事開催されました。
コロナ禍の中においても感染症

対策を徹底して行い、皆さんのご協力により開催できましたことは最高の喜びでした。
また、
・春の祭礼（農作物の豊作を祈願）令和4年3月19日（土）
に開催予定です。
（区長 田續 和美）

小堤行政区

コロナ感染症の影響により29項目の事業計画に対し12項目を中止しました。実施した17項目については感染拡大防止対策を徹底しつつ実施しました。

役員会は24名の役員を14名に縮小するとともに、会議時間は40分で終了を目標に実施しました。縮小役員会のため、資料を非招集役員にも各町会長経由で配布

しました。
また、令和元年からの課題であった「小堤集落センター」の改修工事（畳10畳二間をフローリング敷きに。）を行いました。工事期間は令和3年5月16日～27日で、6月9日に完成しました。
集落センターは築39年で和室床の老朽化による保持力低下の改修と非常時の避難者収容施設と

して改善するため、和室から多目的ルームにしました。【令和元年10月の台風19号の際にはセンターも臨時避難場所として開設依頼がありました。】

（区長 山中 章）



リバティヒル135行政区

令和2年から世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、医療現場のみならず私たちの生活にも大きな打撃を与えました。その様な状況から行政区活動



公園清掃休憩時の様子

のほとんどが中止となりましたが、当行政区では、ボランティアを募り公園の清掃と樹木の伐採を令和3年9月25日（土）に実施しました。作業には多くのボランティアが参加して効率良く作業を行っていただきました。

毎年、年末に行政区役員と子供会（保護者も含む）が協力して行政区内をパトロールしています。

今年度は12月27日（月）～29日（水）の3日間17時00分から行い、児童達は約1時間「拍子木・ハンドマイク」で火の用心と



パトロールの様子

盗難防止の「標語」で元気に注意を呼び掛けていました。

住民の中には、児童達の「防火・防犯」の呼び掛けに道路まで出て、暖かい声援を送っていました。

（区長 松本 隆）

新町行政区

新型コロナウイルス感染症の影響で行政区の活動はほとんどできませんでした。

そのような状況下においても新町行政区には、グランドゴルフの

会があり、さらに約700坪のグラウンドもあることから感染症対策を徹底しグランドゴルフは続いています。

週2回午前10：00から約1時間、男女20名ほどが参加して練習しています。

この活動が新町行政区の誇りであると考えています。

早期コロナ禍の終息を心待ちにしている今の状況です。

（区長 中村 和彦）

稲宮行政区

令和3年12月18日(土)9時から稲宮集落センターにおいて、「防災講座」を催しました。これは古河市に出前講座を申し込み、市より二名の講師を派遣していただいたの開催となりました。

防災講座開催の前に、当地区の災害予防や安全に貢献頂いている古河市消防団第9分団の小久保分団長に、その活動内容や分団の訓

練及び構成員等についてお話をさせていただきました。

なお防災講座は地震についてであり、参加者は行政区役員、班長、子供会役員、民生委員の21名となりました。

今回の講座により地震発生回数多さ、発生直後の行動の仕方、自宅に潜在した危険、特に寝ている時の危険と、その環境整備の必要性に気づかされました。より重要なのは公的な支援をあてにする

のではなく、まずは自ら安全を確保する事の大切さを認識しました。

今後とも、行政区としてはこのような講座や、防災訓練を繰り返して行きたいと思えます。

(区長 諏訪、英雄)



「防災講座」の様子

関戸行政区

コロナ禍で5月の区議会を書面表決で行うなどの対応をしました。他には長年の課題であった老朽化した関戸田園都市センターの修繕工事を行いました。一部崩落した外壁の改修、屋根及び外壁の全面塗装、ベランダ防水改修、2階天井張替、照明交換、和式から洋式へのトイレ改修など総額で

750万円、うち市補助金200万円、工事期間3か月で9月末に完了しました。

また、コロナ禍で昨年度開催を見送った防災訓練を11月7日(日)に古河消防署と連携して実施しました。参加者を役員約50人に縮小しての開催でしたが、秋の強い地震の後でしたので参加者は真剣に取り組んでくれました。

(区長 関口哲男)



訓練の様子

第8地区ボランティア活動の紹介

(広報委員会 尾沼 卓)

こが里山を守る会

「こが里山を守る会」は、増加している荒廃した森林の復活を基本方針として、自然環境保全普及啓発、森林整備を目的として活動しているNPO法人です。平成20年12月に設立されました。

会員(ボランティア)は「稲宮の森」を主たる活動場所に、里山の整

備(下刈、間伐、除伐、植樹)、環境保全普及啓発(研修会の開催、児童・生徒及び各種団体の自然環境体験活動の支援)、等の活動に参加しています。

現在、会員は39名が正会員として登録しています。(会員年会費:3,000円)

自然環境体験活動では、上大野小学校児童が年6回程定期的に参加しています。



上大野小学校体験活動の様子

会員参加ご希望の方、問い合わせ先
NPO法人 こが里山を守る会 事務所
〒306-0104 古河市恩名792-1
☎・Fax 0280-78-0795

上大野小学校登下校時見守り隊

児童の登下校において、防犯連絡地区長・班長、区長、老人会中心として、地域全体で「ながら見守り」(散歩しながら、ご近所の方と歓談しながら)を基本として活動しています。

防犯連絡地区長を「登下校見守り隊」の長として、平成31年4月から活動を開始。

現在、ボランティア活動参加者

は、防犯連絡員37名、老人会30名で活動しています。

ボランティア参加希望の方は、
古河市立上大野小学校 渡邊孝行 教頭
までお願いします。

〒306-0201

古河市上大野1425

☎ 0280-98-3009

Fax 0280-98-3907

E-mail 551505@sch.ibk.ed.jp



見守り隊協議会の様子



登校時の様子

小堤小学校スクールサポーター

平成8年頃から「交通安全ボランティア」として活動を始め、平成17年12月に起きた栃木県小1 女児殺害事件をきっかけに、改めて地元の人で地域の子どもたちを守るために協力できる方々を集め、活動を続けていましたが、その後人数や活動も減少した時期があったようです。令和元年7月頃小堤小学校から学区の各老人クラブ、交通安全委員にスクールサポーター募集の呼びかけが行われたところ、現在の参加者数に増員となったようです。この時にユニフォームを整えることになったということです。

令和4年2月1日現在、スクールサ

ポーターボランティア活動参加者数は35名で、関戸地区14名、小堤地区6名、リバティヒル135地区7名、その他8名となっています。児童達の登下校に日々付き添い、見守りを行っているサポーターの方も多数います。

大賀教頭は、「活動内容は「できること」で結構です。登下校の時間に玄関先に出て子供たちの様子を眺める（見守る）だけでも結構です。子供達は地域の宝、子供たちが正しく元気に成長できるよう、今後とも小堤小学校の教育活動へのご理解ご協力をお願いします。」と訴えています。ボランティア参加希望の方は、**古河市立小堤小学校 大賀圭 教頭**までお願いします。☎0280-98-3004（参加者には帽子・ジャンパー等配布）



「スクールサポーターとの顔合わせ会」の様子



「スクールサポーター感謝の会」の様子



登校時の様子



第8地区の「守り人」古河市消防団の紹介

(広報委員会 尾沼 卓)

第9分団

第9分団は第8地区の東側（上大野、稲宮）を管轄区域としており、団員は20～40歳代13名で、それぞれの団員が仕事を持っている中、一人一人が自分に何ができるのかを考え、消防団活動に励んでいます。3月末、1名退団予定で12名となり3名の欠員（定員15名）となってしまうとのことです。

「当分団、平均年齢は若いですが50歳代の方も大歓迎です。地域防災活動を行い、一緒に地域の安全のために頑張りましょう。入団をお待ちしています。」（小久保秋宏 分団長）と思いを語っていました。



コロナ禍前の分団員の集い

第10分団

第10分団は、第8地区の西側（小堤、関戸、新町、リバティヒル135）を管轄区域としており、団員は30～50歳代で個々の仕事を持ちながら消防活動に従事し、地域の安心安全につながるよう日々の訓練、防災活動に励んでいます。

2月現在、団員15名ですが3月末で2名が退団予定、退団後は2名の欠員（定員15名）となってしまうとのこと、「是非、入団して一緒に地域の安心安全のために活動していきましょう。」（渡邊利明 分団長）と参加を訴えていました。



第9分団、第10分団ともに**新入団員を募集**しています。長年に渡り団員として活動しているが、退団希望をしても、後継新入団員がいけないことには退団できないという厳しい状況にあるということです。

入団要件は、「**古河市内に居住または勤務している年齢18歳以上の健康な方**」です。入団を希望される方はお住まいの行政区長に連絡をお願いします。

岡郷人

関口さんに警察庁関東管区警察局長から感謝状

関戸行政区の関口勝美さんが令和3年10月13日（水）、警察庁関東管区警察局長の感謝状を古河警察署長から贈呈されました。

関口さんは平成16年から県少年指導委員として17年間にわたり貢献し、令和元年からは県少年指導委員協議会の会長も兼任。少年の非行防止と健全育成活動に携わることによる地域貢献と功績が讃えられました。

関口さんは、小堤小学校スクールサポーターとしても活動し、児童達に日々付き添い見守っています。（広報委員会 尾沼 卓）



編集後記

「岡郷だより」第3号の発行を迎えました。振り返りますと第1号発行時期がコロナ禍の始まりでした。第3号発行時には、第6波が大幅に減少していることを祈るばかりです。今号では、ボランティア活動と消防団に焦点をあてさせていただきました。皆様のご協力をお願いします。（広報委員会）